

記入例

農地法第3条の規定による許可申請書

令和〇〇年〇月〇日

農業委員会会長 殿

譲渡人 與儀 新二郎

譲受人 山内 かつお

下記農地(採草放牧地)について

所有権 <u>賃借権</u> 使用貸借による権利 その他使用収益権()	} を	無償での賃借	} を	移転
				設定(期間 10年間)

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所
譲渡人	與儀 新二郎	60	農業	〇〇市〇〇丁目〇番〇号
譲受人	山内 かつお	45	農業	読谷村字座喜味〇〇番地

2 許可を受けようとする土地の所在等

土地の所在				地目		面積 (m ²)	対価、賃 の額(円)	現所有者が登記 簿と異なる場合	権利の種 類、内容	権利者の氏 名又は名称
市町村名	大字	字	番地	登記簿	現況					
読谷村	長浜	〇〇原	300	畑	畑	800	12,000 [15,000 /10a]	與儀 新二郎 []		
読谷村	渡具知	〇〇原	301-2	畑	畑	200	3,000 [15,000 /10a]	與儀 新二郎 []		
			以下余白				/10a	[]		

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

- ①時期 (許可後 令和〇〇年〇〇月から) ②対価 ()
 ③賃借料等の給付の種類および額 (年間15,000円) ④契約期間 (10年間)

読農委指令第 号

読谷村農業委員会
会長

令和 年 月 日

上記申請については、下記条件を附して許可します。

- 農地法第3条第3項の規定の適用を受けて同条第1項の許可をするので、
 毎事業年度の終了後3ヶ月以内にその農地(採草放牧地)の利用状況に
 ついて、許可権者に報告すること。

申請人訂正欄 ※漢数字を使用する		担当者確認欄 ※申請人は記入しない		許可権者訂正欄 ※申請人は記入しない	
字挿入	字抹消	字挿入	字抹消	字挿入	字抹消

令和 年 月 日 訂正・再交付

【教示】裏面を読んでください。

記入例

農地法第3条の規定による許可申請書(別添)

I 一般申請記載事項

1-1

<農地法第3条第2項第1号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

<農地法第3条第2項第5号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積(農地・採草放牧地)の状況

特例(集約的に行われる事業等)の該当有無 有 無 ※「有」の場合は、様式第2号の1-③添付

[経営地]

(単位: m²)

	今回権利を取得する土地①	所有地		所有地以外の土地		経営面積合計 ①+②+③
		自作地②	貸付地	借入地③	貸付地	
田						
畑	1,000	2,900		800		4,700
樹園地						
計	1,000	2,900		800		4,700
採草放牧地						

面積は営農計画書と一致

[非耕作地]

	所在・地番	地目		面積(m ²)	状況・理由	
		登記	現況			
非耕作地	所有地	恩納村安富祖上原〇〇	畑	畑	100	〇〇のため〇年間休耕中である。
	所有地以外の土地	なし				

(記載要領)

1 「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。

なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第3条第2項第6号の括弧書きに該当する土地です。

2 「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人〇〇が〇年間耕作を放棄している」、「～のため〇年間休耕中である」等自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1-2 <農地法第3条第2項第1号関係>

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積・・・営農計画書の添付

(2) 大農機具又は家畜

		大農機具				
		耕うん機	トラクター	農薬散布機	草刈機	その他()
確保	所有	1台	台	台	台	
	リース	台	台	台	台	
導入予定	所有	台	1台	1台	台	
	リース	台	台	台	台	
資金繰り		該当するものに○を付すこと 自己資金・金融機関からの借入れ・その他()				

家畜				
乳牛	肉用牛	豚	鶏	その他()
頭	頭	頭	羽	

(記載要領)

1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。

2 導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)等資金繰りについても記載してください。

耕作証明願

記入例

令和 年 月 日現在における農業経営に供すべき農地等の耕作状況は下記のとおりであることを証明願います。

令和 年 月 日

申請人(当事者)

住 所 読谷村字座喜味2901

氏 名 読 谷 太 郎

読谷村農業委員会会長 殿

記

土地の所在				地目		面積 m ²	利用 状況	耕作者	
市町村名	大字	小字	地番	登記簿	現況			氏名	利用権原
読谷村	宇座	浜屋原	〇〇	畑	畑	320	キビ	読谷 太郎	自作地
読谷村	渡慶次	森原	〇〇-〇	畑	畑	250	イモ	読谷 太郎	使用貸借
読谷村	渡具知	後原	〇〇	原野	畑	400	野菜	読谷 太郎	自作地
恩納村	安富祖	上原	〇〇	畑	畑	100	不耕作	読谷 太郎	自作地
農家台帳に載っている土地・所有の土地はすべて記入する。				不耕作がある場合は基本的には農地を求めることはできません。		農地法又は経営基盤強化法に基づく貸借のみ記載できます。ヤミ小作は記入できません。			
合 計						1,070			

上記のとおり、相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

読谷村農業委員会会長

※ 耕作証明は、基本的には市町村に畑を求める場合の添付証明書として発行してます。

営 農 計 画 書

住 所 読谷村字座喜味〇〇番地

氏 名 山内 かつお

今回申請する農地の合計。

農地法第3条許可申請地(1,000 m²)を取得した後は、すべての農地(採草放牧地)について下記のとおり農業経営を行います。

1. 構成員(世帯数) 4 人
 うち、必要な農作業に従事する者 2 人

2. 経営計画

土地の所在				地目		面積	作目	生産状況				農作業従事状況(年間)			
市町村	大字	小字	地番	登記簿	現況			10アール 当たり 収量	総生産 量	単価	総生産 額	10アール 当たり 必要日数	必要 総日数	従事 可能 日数	農作業 の種類
現在経営地															
読谷村	長浜	前原	〇〇	畑	畑	1,300	さとうきび	10t	13t	22,600	293,800	10	13	20	手作業 機械
〃	〃	〃	〇〇	〃	〃	900	小ぎく	42680キロ	38,412 キロ	30	1,152,360	65	59	70	手作業 機械
〃	〃	〃	〇〇	〃	〃	700	インゲン	3258キロ	2,280 キロ	710	1,618,800	220	160	170	手作業 機械
〃	瀬名波	鏡地原	〇〇	〃	〃	800	さとうきび	10t	8t	22,600	180,800	10	8	20	手作業 機械
・上段に現在経営地を記入(農家台帳登録地すべて記入すること) ・すべて耕作していることが条件となります。															
計算のしかた ・面積÷1,000×10a当たり収量＝総生産量 ・総生産量×単価＝総生産額 ・面積÷1,000×10a当たり必要日数＝必要総日数															
小計						3,700									
今回申請地															
読谷村	長浜	〇〇原	300	畑	畑	800	さとうきび	10t	8t	22,600	180,800	10	8	20	手作業 機械
読谷村	渡具知	〇〇原	301-2	畑	畑	200	〃	〃	2t	22600	45,200	10	2	20	手作業 機械
「様式第2号の1-②」(1)農作業に従事する者、農作業従事日数と一致															
小計						1,000									
合計						4,700									

下段は、今回申請地を記入。
同時申請があればそれも含む。

「様式第2号の1-②」(1)農作業に従事する者、農作業従事日数と一致